

【記載例】

差 押 債 権 目 録

金〇〇〇, 〇〇〇円

債務者が第三債務者に対して有する下記物件の賃料債権にして、本命令送達日以降支払期の到来する分から、頭書金額に満つるまで

記

(物件の表示)

釧路市〇〇町〇丁目〇番〇号所在

〇〇マンション〇階〇〇〇号室

【記載例】

差 押 債 権 目 録

金〇〇〇, 〇〇〇円

ただし、債務者が下記建物の賃貸借契約に際し、第三債務者に差し入れた敷金
(保証金名目のものを含む。)の返還請求権にして、頭書金額に満つるまで

記

(物件の表示)

釧路市〇〇町〇丁目〇番〇号所在

〇〇マンション〇階〇〇〇号室